

提 供 日 2026/10/07
タイトル 本県の建設マスター及び建設ジュニアマスターが
顕彰されます！
担 当 交通基盤部 建設経済局建設業課
連 絡 先 建設業班
TEL 054-221-3057



建設マスター顕彰 静岡県関係者は15名が受賞
建設ジュニアマスター顕彰 静岡県関係者は5名が受賞

1 概要

国土交通省は、令和8年度「建設マスター」（優秀施工者国土交通大臣顕彰）の受賞者を決定し、本県関係者15名（全国で446名）が受賞することとなりました。また、今後更なる活躍が期待される青年技能者である「建設ジュニアマスター」（青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰）の受賞者を決定し、本県関係者5名（全国で120名）が受賞することとなりました。

2 受賞者（本県関係者）

(1) 優秀施工者国土交通大臣顕彰

氏 名	職種	勤務先	勤務先所在地
八木 詠介 (やぎ えいすけ)	大工	株式会社異企業	静岡県藤枝市
小野 康博 (おの やすひろ)	とび工	丸明建設株式会社	静岡県袋井市
松本 博文 (まつもと ひろふみ)	土工	株式会社天竜アキヤマ	静岡県浜松市
平川 直樹 (ひらかわ なおき)	コンクリート工	高橋自動車工業株式会社	静岡県賀茂郡松崎町
野村 篤 (のむら あつし)	鉄筋工	ビップ株式会社	静岡県袋井市
新海 啓伸 (しんかい ひろのぶ)	道路標識設置工	日道工業株式会社	愛知県名古屋市 (静岡県静岡市在住)
木戸 義行 (きど よしゆき)	建設機械運転工	株式会社マイタック	東京都台東区 (静岡県静岡市在住)
近藤 正剛 (こんどう まさたけ)	内装仕上工	有限会社インテリアコン ドー	静岡県静岡市
川端 英二郎 (かわばた えいじろう)	塗装工	株式会社共栄社	静岡県島田市
山田 康詞 (やまだ やすし)	塗装工	佐野塗装株式会社	静岡県静岡市
藤原 暢人 (ふじわら のぶと)	建具工	一人親方	静岡県磐田市
都築 克佳 (つづき かつよし)	道路標識設置工	株式会社コスモライン	静岡県静岡市
長嶋 匡宏 (ながしま まさひろ)	配管工	日将株式会社	静岡県静岡市
古屋 貴之 (ふるや たかゆき)	電気工	株式会社山田電工社	静岡県熱海市
土屋 智 (つちや さとし)	橋梁特殊工	株式会社西和工務店	神奈川県相模原市 (静岡県駿東郡清水町在住)

(2) 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰

氏 名	職種	勤務先	勤務先所在地
井口直人 (いぐち なおと)	大工	株式会社杉浦組	静岡県浜松市
堀本亮佑 (ほりもと りょうすけ)	土工	大石建設株式会社	静岡県榛原郡吉田町
石原良河 (いしはら りょうが)	屋根工	石原かわら店	静岡県静岡市
熊田章太 (くまだ しょうた)	大工	株式会社渡部建設	静岡県浜松市
田代翔 (たしろ かける)	内装仕上工	株式会社インテリア翔	静岡県富士市

3 顕彰式典

(1) 日時 令和8年10月14日(水)午後1時30分～午後3時10分

(2) 場所 文京シビックホール 大ホール
東京都文京区春日1-16-21

※当日の取材は報道関係者に限り可能ですが、事前登録が必要です。希望者は、10月9日(金)16時までに、報道機関名、取材者氏名、連絡先(電話番号・メールアドレス)を国土交通省不動産・建設経済局建設振興課までメール(hqt-kensetsu-master@gxb.mlit.go.jp)で連絡願います。



令和 8 年 10 月 7 日
不動産・建設経済局建設振興課

建設マスター・建設ジュニアマスターを顕彰！ ～優秀な技術・技能を有する建設技能者を称えます～

優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をした建設技能者 446 名を、「建設マスター」として井林国土交通大臣が顕彰します。

また、今後更なる活躍が期待される青年技能者 120 名を、「建設ジュニアマスター」として須藤不動産・建設経済局長が顕彰します。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、その社会的評価・地位の向上を図ることを目的として、特に優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、平成4年度より毎年「優秀施工者国土交通大臣顕彰」(建設マスター)を実施しています。

また、建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与えることを目的として、優秀な技術・技能を有し、今後更なる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、平成 27 年度より毎年「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」(建設ジュニアマスター)を実施しています。

今般、下記のとおり、今年度の被顕彰者を決定するとともに、顕彰式典を開催します。

1. 被顕彰者の決定

建設マスター(446 名) : 別紙名簿1のとおり

建設ジュニアマスター(120 名) : 別紙名簿2のとおり

2. 顕彰式典の開催

日 時 : 令和8年 10 月 14 日(水) 13 時 30 分～15 時 10 分

場 所 : 文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日1-16-21

※ 当日の取材は報道関係者に限り可能ですが、事前登録が必要です。

希望者は、10 月9日(金)16 時までに、報道機関名、取材者氏名、連絡先(電話番号・メールアドレス)を、以下問合せ先のメールアドレスにお送りください。

※ 取得した個人情報適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

※ 公務等の状況により顕彰者に変更が生じることがありますので、予めご了承ください。

(別紙名簿1)令和8年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰 被顕彰者

(別紙名簿2)令和8年度 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰 被顕彰者

(参考資料)「優秀施工者国土交通大臣顕彰」及び「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」について

【問合せ先】

不動産・建設経済局建設振興課 岩船、上田

代表 : 03-5253-8111 (内線 24814、24844)、直通 : 03-5253-8282

E-Mail : hqt-kensetsu-master@gxb.mlit.go.jp



「優秀施工者国土交通大臣顕彰」及び 「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」について

良質な建築物・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活や経済活動を支える「社会資本整備の担い手」であると同時に、災害対応の最前線を担う「地域の守り手」として、特に災害の多い我が国において重要な役割を果たしている基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的評価・地位の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、平成4年度より優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を実施しています。第35回目となる今年度は446名を顕彰し、これまでの建設マスター被顕彰者は合計13,762名となります。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設技能者の最高峰の顕彰である建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与えることを目的として、優秀な技術・技能を有し、今後更なる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、平成27年度より新たに青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）を実施しています。第12回目となる今年度は120名を顕彰し、建設ジュニアマスター被顕彰者は合計1,342名となります。

なお、今年度の被顕彰者のうち女性は、建設マスター1名、建設ジュニアマスター1名となっています。

※女性被顕彰者の職種

建設マスター：建設機械運転工1名

建設ジュニアマスター：電気工1名

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html

令和8年度被顕彰者の詳細

建設マスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
平均年齢	52.7歳	52.0歳	51.8歳
最も多い年齢(人数)	52歳(44人)	52歳(35人)	50歳・51歳(31人)
最低年齢	40歳	39歳	38歳
最高年齢	65歳	69歳	70歳
35～39歳の人数	0人	1人	3人
40～49歳の人数	139人	160人	170人
50～60歳の人数	254人	240人	231人
61歳以上の人数	53人	51人	48人
被顕彰者数	446人	452人	452人

○被顕彰者の主な職種

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
建設機械運転工	56 人(12.6%)	53 人(11.7%)	50 人(11.1%)
土工	54 人(12.1%)	53 人(11.7%)	58 人(12.8%)
大工(型枠大工含む)	29 人 (6.5%)	26 人 (5.8%)	31 人 (6.9%)
とび工	29 人 (6.5%)	32 人 (7.1%)	29 人 (6.4%)

建設ジュニアマスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
平均年齢	35.5歳	36.0歳	36.1歳
最も多い年齢(人数)	38, 39歳(21人)	39歳(24人)	39歳(31人)
最低年齢	27歳	28歳	27歳
最高年齢	41歳	41歳	41歳
～29歳の人数	5人	8人	4人
30～34歳の人数	40人	31人	30人
35～39歳の人数	71人	69人	82人
40歳以上の人数	4人	11人	5人
被顕彰者数	120人	119人	121人

○被顕彰者の主な職種

	令和8年度	令和7年度	令和6年度
大工(型枠大工含む)	14人(11.7%)	10人 (8.4%)	13人(10.7%)
鉄筋工	10人 (8.3%)	12人(10.1%)	8人 (6.6%)
電気工	9人 (7.5%)	7人 (5.9%)	8人 (6.6%)